

2026年1月9日

各 位

長野県松本市芳野19番48号
キッセイ薬品工業株式会社
(コード番号4547:東証プライム)
問合せ先 広報部長 内村 和哉
TEL:0263-25-9523

CDP2025気候変動で最高評価「Aリスト」に選定

キッセイ薬品工業株式会社(本社:長野県松本市、代表取締役会長兼最高経営責任者:神澤陸雄、以下「当社」)は、この度、2025年の気候変動への取り組みとその情報開示の充実度において、国際環境非営利団体であるCDPより最高評価である「Aリスト」に初めて選定されました。また、水セキュリティでは、「A-」評価を獲得しました。

CDPは、世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営する国際的な非営利団体です。同団体は、世界の主要企業の環境活動に関する情報を収集・分析・評価し、気候変動や水セキュリティに関する取り組みと情報開示において最も優れた企業をAリストとして毎年選定しています。



当社はマテリアリティの一つに「環境経営の推進」を掲げ、キッセイグループ環境基本方針に則り、グループ各社の連携によって、実効性の高い気候変動対応や水資源循環に取り組んでいます。

気候変動対応では、長期目標として「2050年度CO₂排出量:実質ゼロ」、中期目標として「2030年度CO₂排出量:2020年度比42%削減」を掲げ、CO₂フリー電力の導入をはじめとした再生可能エネルギーの活用、熱源機器の省エネ設備への切り替えなど、多面的なアプローチによりエネルギー使用の最適化を進めています。

水資源循環の推進では、「2030年度取水量:2024年度比2.5%削減」を目標に設定し、冷却水使用量の削減や設備の高効率化、法令に基づいた排水水質の適正管理など、持続可能な水資源利用を強化しています。

当社の環境への取り組みについては、[コーポレートサイト](#)をご参照ください。

「キッセイグループは輪と和を通じて、より大きく社会に貢献する」のグループ経営理念のもと、企業の社会的責任において積極的に地球環境保全に努めるとともに、豊かで住み良い社会の実現に貢献します。

以上

《ご参考》

CDPについて

CDPは、英国に本部を置く国際的な非営利団体です。企業や自治体などの事業活動が及ぼす環境への影響(気候変動、水セキュリティ、フォレスト)について、質問書を通じて情報収集・分析を行い、スコアリングを開示することで、持続可能な経済への移行を促しています。世界中の多くの金融機関が、投資や融資の意思決定のためにCDPデータを活用しており、ESG投資の重要な判断材料としています。

詳細については、同団体のウェブサイト(<https://www.cdp.net/ja>)をご参照ください。

以上